

＜概要＞

協会設立当初は市内各地区にボランティア活動団体は少なく、様々な依頼は協会に寄せられる状況でした。その後、いるかバンクを市社協とともに設置し、さらに地区の活動団体も徐々に増加し、協会が直接関与した対人支援活動はハンディキャップボランティア号活動に絞られてまいりました。そこで、「ボランティア協会らしさ」を検討しながら、新しい活動に向かって来ましたが、ここ数年で、高齢者のための住まい探しサポーター事業への協力参加、就労困難な方々への社会参加の機会づくりへの協力を行ってきました。さらに、一昨年に開始した在宅者を対象とした「傾聴活動」も入門講座の開催とあいまって南区を中心に定着してまいりました。また、傾聴活動に参加する人が徐々に増えてきたことから、協会会員数も増加に転じるという結果にもなっています。

以上のことから、従来からのボランティア養成事業、ハンディキャップボランティア号運行事業、障がい者・高齢者を支援する事業、情報発信事業、交流事業などの協会主要事業の内容も少しずつではありますが変化を遂げてきていることがご理解いただけると思います。

一方、2012年度から具体的に開始しました財政改善策ですが、有償運送事業においては保有車両3台の内1台については老朽化もあったため廃車とし、個人所有の車両を利用させていただくセダン型運行を正式に開始することができました。収入を増加させることに関連しては、2013年5月17日付けで相模原市から認定NPO法人の認証を取得したことで、寄付者に対する税の優遇制度が適用され会員の皆様を中心に寄付について多くの賛同を得ることができ、一定の収入を得ることができました。また、ぼらんていあ通信及びぼらんていあ情報誌「わくわく」において企業からの賛助広告をいただくなどの成果を得ることができました。

以上、事業と財政の両面において協会の改革が進みましたが、いずれについても多くの会員の協力なしでは出来ない事ばかりでした。ここに改めて会員の皆様に御礼を申し上げます。

＜特定非営利活動に係わる事業報告＞

1. 障がい者、高齢者への援助活動

(1) ボランティア団体、市社会福祉協議会、行政との協働のもと、移送援助活動や日常生活支援活動を通して障がい者、高齢者等の社会参加を拡大していくことをめざしました。住まい探しサポーター事業は6回の企画があり、うち4回で利用者があり、延べ8名のサポーターを派遣し、市など関係機関との連絡会議に1回2名参加しました。

参考 2015年度ボランティア活動状況（単位：名）

活動内容		高齢者	障がい者	障がい児	児童	その他	合計
個人	通院介助	75	22	0	0	0	97
	学校・保育園送迎	0	7	552	0	0	559
	外出介助	20	157	1	0	0	178
	話し相手・見守り等	499	213	655	104	0	1,471
	清掃関係	227	30	0	0	0	257
	その他	4	62	0	17	77	160
	個人小計	825	491	1,208	121	77	2,722
団体	レクリエーション指導	1,466	345	28	0	0	1,839
	日課活動補助	3,613	1,030	218	0	0	4,861
	イベント支援	357	701	173	86	45	1,362
	パフォーマンス披露	963	17	8	2	0	990
	その他	0	22	100	7	0	129
	施設・団体小計	6,399	2,115	527	95	45	9,181
合計	7,224	2,606	1,735	216	122	11,903	

相模原市社会福祉協議会ボランティアセンター資料より

(2) 就労困難な方々への社会参加の機会づくり

厚生労働省事業で、相模原市がNPO 法人文化学習協同ネットワークに委託している事業（ニートや引きこもり状態にある若者の職業的自立に向けた支援をするため、総合相談や就労支援プログラムを作成し、他の若者支援機関と連携し継続的な支援を実施）に対する援助として、文化学習協同ネットワークを利用している若者数名が来所し、ボランティア協会が発行している「ぼらんていあ通信」の発送業務（発行物の四つ折り、切手貼り、封入等）を発送ボランティアと一緒にしています。気軽に会話を交わすことにより、職場での対人関係の育成訓練に寄与することを目指しています。また、使用済みテレフォンカード等を種類により分類したり、100枚単位で括る作業も同様の目的で実施しています。

2015年度（平成27年度）の実施実績は次のとおりでした。

ぼらんていあ通信発送作業への参加:平成27年4月21日～平成28年3月23日までで計12回、48名が参加。使用済みテレフォンカードの分類業務は10月6日が3名参加、12月1日が2名参加でした。

(3) 傾聴活動

2012年度から始めた傾聴ボランティア入門講座は、これから傾聴ボランティア活動をやってみたい方、現在のボランティア活動に傾聴の考え方を活かしたい方のための講座としてスタートしました。2014年度からは当協会が傾聴活動を実践するための講座として再構成し、カリキュラムには、当協会に既に傾聴ボランティア活動を行っている人の経験談や当協会の傾聴活動の仕組みについても解説するものとなりました。

当協会の傾聴ボランティア実践活動は、2014年度から開始し、15回の傾聴活動を実施し、対象者は6名、従事したボランティアは延べ31名、実活動者は5名でしたが、2015年度は2014年度の南区における講座修了者が参加したことと関係者の理解が進んだことから、61回の傾聴活動を実施し、対象者は11名、実活動者は16名（延べ139名）に増加しました。さらに、活動者の交流の場として4回の情報交換会を開催しました。

2. 移送援助活動

単独で外出の困難な人々の支援を行うため3台の福祉車両を活用して活動を行い、「安全と安心を運ぶ」をモットーに延べ1,147回に及ぶ運行を行いました。途中9月には9号車を廃車として2台体制としました。また、8月からはセダン型運送の実運行を開始しました。このセダン型運行については従事ボランティア数の増加が課題となっています。なお、小中学校福祉体験学習への車両・講師の派遣、ボランティア養成講座での運転・介助者の養成など、次の時代を担う人材の獲得に努めました。

2015年度の運行実績

運行種類	内 容	件 数	利用者数	運転ボラ	介助ボラ
一般運行 (内セダン型運行)	通院・外出・買物ほか	1,147 (283)	1,670 (426)	1,147 (283)	389 (2)
学校協力事業	小中学校体験学習等	9	—	—	—

総走行距離数13,515km

3. ボランティア養成及びボランティア活動のネットワーク

3.1 ボランティア養成に関する活動

ボランティア活動を始める人を対象に、基礎講座、コース別講座を開催しました。さらに、春のボランティア入門講座では傾聴活動入門をテーマに取り上げ、人材養成に取り組みました。

2015年度基礎講座、コース別講座、入門講座受講者数

基礎講座	コース別講座（内訳下表）	傾聴入門講座(春講座)
18名	12名	61名

コース別講座	外出援助	拡大写本	高齢者へのボランティア	福祉車両 運転・介助
内訳（再掲）	1名	3名	7名	1名

3.2 ボランティア団体とのネットワークづくり

市内のボランティア団体のみならず機関や企業とのネットワークづくりの分野では、13回にわたるサロン、地区ボランティアグループ、高齢者支援センターなどの訪問、9回の企業訪問結果をぼらんていあ通信に掲載し、ぼらんていあ情報誌「わくわく」のための4回の座談会など、機会をとらえ、相互連携の強化を目指しました。また、市内高齢者への家具転倒防止活動については、相模原災害ボランティアネットワークと協力しながら取り組みを進め、2件の活動となりました。また、ぼらんていあ通信8月号より各地区社協ごとに開催されているサロンをリストとして掲載。これからのサロンのあり方や、ボランティアでご協力を考えている方の参考になればと思っています。

3.3 情報発信に係わる事業

一般の市民とボランティアとをつなぐ季刊の“ぼらんていあ情報誌「わくわく」”は、第30号（6月夏号）、第31号（9月秋号）、第32号（12月冬号）、第33号（3月春号）を発行しました。また、会員向け「ぼらんていあ通信」を地域のボランティア団体、地域作業所、各施設にも送付し情報を提供しました。協会ホームページにはぼらんていあ通信の電子版を掲載し、メール受信可能な会員向けには電子版の送信をしました。「わくわく」の電子版も制作し同じく協会ホームページに掲載しました。さらに、必要に応じて市社会福祉協議会の「みんないいひと」などに記事の掲載をお願いし、市民に対する広報活動を行いました。

ぼらんていあ通信No. 398（平成27年1月号）より、市内で活躍する会社紹介をしています。企業にボランティアのことを理解してもらい、協力を得たいとの考えから、福祉に協力的な企業を中心に掲載しており、相模原市青年会議所に所属する会社をリレー形式で取材しています。その関係で、“ぼらんていあ情報誌わくわく”に毎回広告をお願いし、1社5000円、累計10社5万円のご寄付をいただきました。

3.4 交流事業の開催

(1) ほかにほかにふれあいフェスタ2015の開催

障がい者や市民との交流を目的とする「ほかにほかにふれあいフェスタ2015」は、2015年10月17日（土）相模原市社会福祉協議会の共催、相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉事業団の後援を得て、あじさい会館及びウェルネス前広場で開催し、約1200名の参加がありました。

さらに、12月5日（土）には障害者週間にちなんで、サンデッキ相模大野で障がい者の福祉に関する市民の関心と理解を得るためのキャンペーンを実施し、約2000名への啓発ビラ配布を行いました。

(2) 障がい者とのボウリング大会

障がい者との新春ボウリング大会を相模原パークレーンズの協力を得て2月13日（土）に開催しました。参加者は10団体64名（選手50名）、ボランティア、協力団体を合わせると総数91名の参加となりました。（実行委員会は3回開催しました。）

4. その他の事業

4.1 法人・事務局運営

法人運営と日常の連絡調整を行うための事務局についてはあじさい連絡所1個所体制で運営しました。昨年度の統

合後のスムーズな運営のために引き続き旧南連絡所の事務局員の協力を得ました。また、法人事務およびあじさい連絡所の円滑な運営については事務局サポーターの大きな協力をいただきながら推進してきました。市社会福祉協議会の中央ボランティアセンターとの懇談会を行い円滑な運営に努めました。

4.2 活動財源の確保のための活動

認定NPO法人制度を利用した会員に対する寄付促進のキャンペーンを行いました。また、バザーの実施やプライベートカードの収集整理、イオングループの黄色いレシートキャンペーンへの参加、ぼらんていあ通信や情報誌「わくわく」への企業PRの掲載など財源確保のための活動を行いました。また、若葉祭りでバザーの実施、市社協ブースでコーヒー、玉こんにゃく販売、(株)イノウエ様より組みひも作り体験機をお借りし、大勢の人に喜んでいただきご寄付を頂きました。